

さまざまな人の声を聞きました

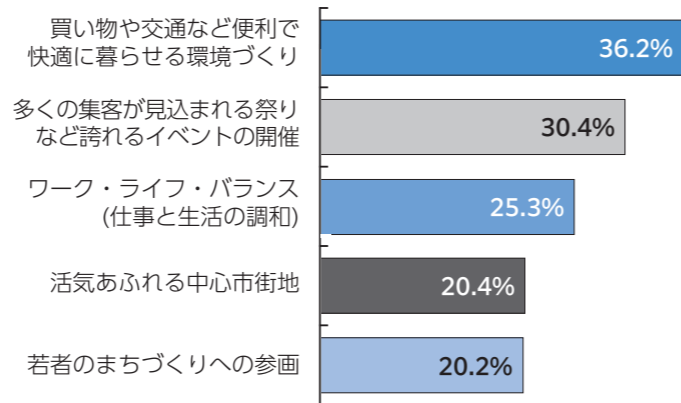
高校生・大学生アンケート調査

将来の本市を担う市内の高校、大学に通う若者の意見を把握することを目的として、5月から6月にかけてアンケート調査を実施しました。

就職や進学などの進路のほか、結婚・子育てなどについて、市内の高等学校に在籍する高校2年生と、市内の大学に在籍する学生を対象にアンケート調査を行い、高校生1,046人、大学生419人、合計1,465人から回答が寄せられました。

設問 伊勢崎市が若い世代(20代~30代)にとって魅力的なまちになるために、重要だと思うことは何ですか

結果 13項目の選択肢のうち、考えに近いものを3つ回答してもらったところ、「買い物や交通など便利で快適に暮らせる環境づくり」と回答した人が最も多く36.2%となりました。次いで「多くの集客が見込まれる祭りなど誇れるイベントの開催」が30.4%と続き、続いて「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)」が25.3%、「若者のまちづくりへの参画」が20.2%と続きました。



まちづくり市民ワークショップ

計画策定段階から市民の皆さんに参画してもらい、まちづくりについて主体的に検討してもらうため、9月から10月にかけて全3回のワークショップを開催しました。

第1回は「市の将来像を考える」をテーマに、市の好きなところや他にはない魅力、10年後の理想の市について話し合いました。

第2回は「各世代にとって理想の市を考える」をテーマに、子どもや若者、高齢者にとっての理想の市について話し合いました。

第3回は「多様な人が共に過ごせる伊勢崎市を考える」をテーマに、地域間の共生や世代間の共生、SDGsによる共生について話し合いました。



▲まちづくり市民ワークショップでの意見発表の様子

多文化共生キーパーソンヒアリング

地域における多文化共生の推進に中心的な役割を果たしている多文化共生キーパーソンを対象に、7月にヒアリングを行いました。ヒアリングでは、以前と比べると外国人住民がさまざまな情報を得やすくなっていることや、言葉や文化の相互理解が必要であることなどの声が寄せられました。



市民参画の結果は今後の市政運営・各種計画策定のために

市民参画の結果は、第3次総合計画の策定に活用するほか、今後の市政運営の基礎資料とします。

市民参画の詳細や、総合計画審議会の実施状況、今後の計画策定スケジュールなどは、市ホームページで公開していますのでご覧ください。

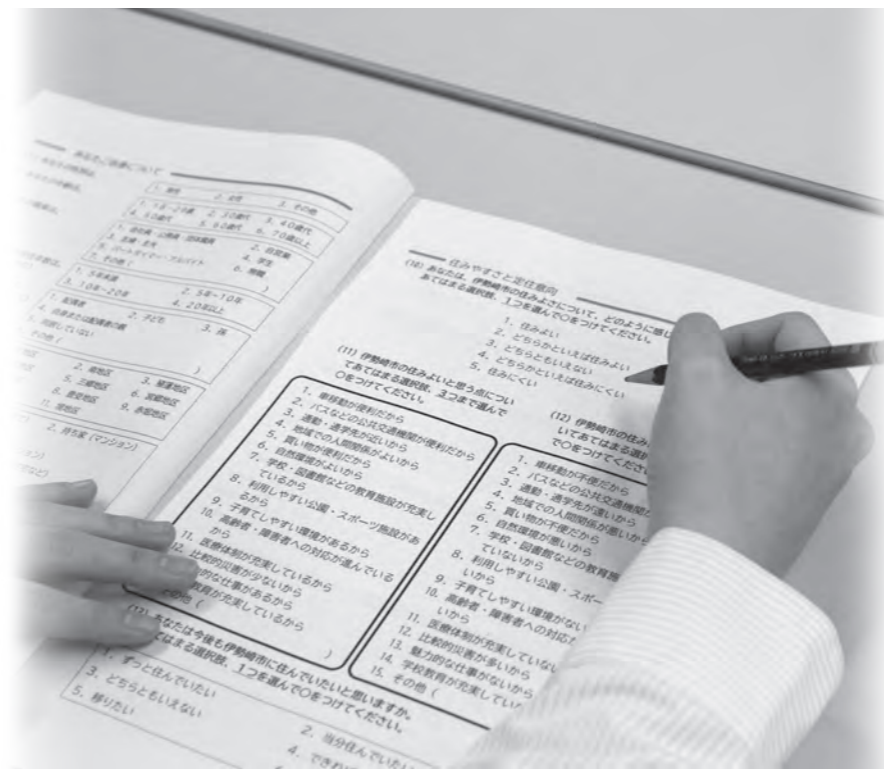
今後も市政に対する皆さんの意識や意見を把握し、市民と行政が協働するまちづくりを推進します。調査にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。



▲市ホームページ

令和5年度

第3次総合計画策定における市民参画の実施状況をお知らせします



問い合わせ 企画調整課 ☎(27)2707

令和7年度から始まる第3次総合計画の策定にあたり、市民と行政が協働したまちづくり計画とするため、市民の皆さんに参画してもらいながら計画づくりを進めていきます。この実施状況をお知らせします。

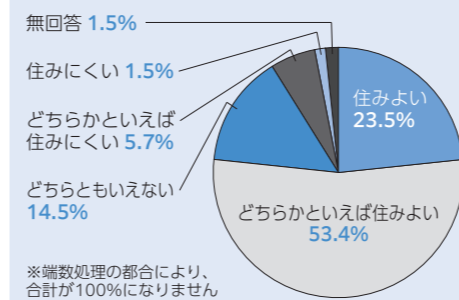
市民アンケート調査を実施

市では計画的なまちづくりを進めていく上で、市民意識の動向と多様なニーズを統計的に把握することを目的とした調査をことしの6月に実施しました。今回の調査では、市内に在住の18歳以上の人口から無作為に抽出した2,000人を対象に、現行の総合計画に対する評価のほか、本市の住みよさなどについてアンケートを行い、545人から回答が寄せられました。

主な調査項目

本市の41施策の取り組み状況に対する評価(満足度・重要度はどの程度か)のほか、本市に対する愛着、本市の住みよさとその理由、将来の都市像などについて、どう感じているか具体的な質問をしました。また、市政への意見や要望・提案などの意見を自由に記入してもらいました。

伊勢崎市の住みよさについて



設問 伊勢崎市の住みよさについて、どのように感じていますか
 「住みよい」、「比較的住みよい」と回答した人は全体の76・9%と大半の人が住みよいと感じていることが分かりました。住みよいと感じた理由として「災害が比較的少ないから」、「買い物や便利だから」、「車移動が便利だから」などが多く挙げられました。

設問 将来の伊勢崎市がどんな市になって欲しいですか
 福祉の充実したまち、安心して暮らせるまちなど、生活に直結する声が多数を占める
 13項目の選択肢のうち、考えに近いものを3つ回答してもらったところ、「高齢者や障害者などを大切にすることを大切に」、「災害が比較的少ないから」、「買い物や便利だから」、「車移動が便利だから」などが多く挙げられました。次いで「防災・防火・救急・防犯・交通安全などが整備され、安心して暮らせるまち」が40・7%と続き、安心安全にいつまでも本市で生活できるようなまちを目指してほしいという意見が多く挙げられました。

